



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミツバ  
コード番号 7280 URL <http://www.mitsuba.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 裕一  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 武 信幸 (TEL) 0277-52-0113  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	159,266	△1.3	10,667	7.9	7,045	△28.3	2,178	△60.3
28年3月期第2四半期	161,332	8.0	9,883	3.2	9,827	△13.5	5,491	10.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期△11,029百万円( -%) 28年3月期第2四半期 5,512百万円( 31.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	48.67	—
28年3月期第2四半期	122.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	296,149	78,045	21.7
28年3月期	314,859	90,307	24.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 64,235百万円 28年3月期 76,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	18.00	18.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	△7.0	18,000	△21.4	15,000	△23.5	4,500	△47.2	100.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	45,581,809株	28年3月期	45,581,809株
29年3月期2Q	822,965株	28年3月期	823,068株
29年3月期2Q	44,758,760株	28年3月期2Q	44,758,996株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、平成28年11月25日にアナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策を背景として企業収益や雇用情勢が改善する等、緩やかな景気の回復傾向が続きました。しかし、為替相場が円高傾向で推移していることから、企業収益の悪化や設備投資の伸び悩みなどが見られ、景気の足踏みが続いております。一方、世界経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速があったものの、米国の景気は回復が続き、欧州も英国のEU離脱による影響を軽微に抑え、緩やかに景気回復をしました。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は1,592億66百万円（前年同期比1.3%減）となりました。北米及び中国の販売は好調を維持し現地通貨では増収となりましたが、円高による為替換算の影響で減収となりました。連結営業利益は、メキシコ及びハンガリー拠点の業績改善で、106億67百万円（前年同期比7.9%増）、連結経常利益は、為替差損の発生で70億45百万円（前年同期比28.3%減）、法人税等と非支配株主に帰属する四半期純利益を控除し、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億78百万円（前年同期比60.3%減）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業は、北米の自動車生産が好調を維持しました。一方、日本は自動車生産台数が回復基調にあるものの、新車販売台数が低調に推移したため、売上高は1,529億24百万円（前年同期比1.7%減）となり、セグメント利益は103億42百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

情報サービス事業は、公共分野や民間分野の受注拡大に取り組み、売上高は58億85百万円（前年同期比1.9%増）となり、セグメント利益は84百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

その他事業は、売上高は17億12百万円（前年同期比54.7%増）、セグメント利益は2億30百万円（前年同期比253.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、2,961億49百万円（前連結会計年度末3,148億59百万円）となり、187億9百万円減少しました。流動資産は1,775億42百万円となり150億8百万円減少し、固定資産は、1,186億7百万円となり37億円減少しました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が49億38百万円減少したことが主な要因です。固定資産は、機械装置及び運搬具が47億49百万円減少したことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,181億4百万円（前連結会計年度末2,245億51百万円）となり、64億46百万円減少しました。流動負債は、1,238億11百万円となり56億81百万円減少し、固定負債は942億92百万円となり7億65百万円減少しました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が40億38百万円減少したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金が3億93百万円減少したことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、780億45百万円（前連結会計年度末903億7百万円）となり、122億62百万円減少しました。これは為替換算調整勘定の減少が主な要因です。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億31百万円減少し668億21百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、142億62百万円（前年同期は156億54百万円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益65億49百万円と、減価償却費72億73百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、101億75百万円（前年同期は108億50百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出98億74百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、10億29百万円（前年同期は44億69百万円の獲得）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出12億7百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績見通しにつきましては、自動車販売が下半期の新車効果も見込まれ日本を中心に回復傾向が予想されます。しかし円高の継続など懸念材料もあり、当下半期の業績に対して当初想定より厳しいことが見込まれます。

このような状況から、当第2四半期連結累計期間における業績を勘案した上で、業績予想の見直しを行った結果、平成28年5月11日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想を、以下の通り修正します。

詳細につきましては、本日公表いたしました「平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 通期の連結業績予想

売上高	310,000百万円	(前回予想	320,000百万円)
営業利益	18,000百万円	(同	21,000百万円)
経常利益	15,000百万円	(同	21,000百万円)
親会社株主に帰属する			
当期純利益	4,500百万円	(同	8,000百万円)

## (参考)

## 通期の個別業績予想

売上高	143,000百万円	(前回予想	140,000百万円)
営業利益	1,500百万円	(同	2,500百万円)
経常利益	5,000百万円	(同	7,000百万円)
当期純利益	1,000百万円	(同	2,000百万円)

なお、為替レートにつきましては、当連結累計期間では1米ドル=100円、1ユーロ=115円を想定しております。

業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	68,663	68,332
受取手形及び売掛金	56,164	51,225
有価証券	200	100
商品及び製品	17,311	14,252
仕掛品	3,459	3,778
原材料及び貯蔵品	22,158	18,637
繰延税金資産	4,671	4,690
その他	20,058	16,603
貸倒引当金	△137	△78
流動資産合計	192,550	177,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,092	57,375
減価償却累計額	△39,526	△38,718
建物及び構築物(純額)	19,565	18,657
機械装置及び運搬具	131,412	122,775
減価償却累計額	△97,569	△93,682
機械装置及び運搬具(純額)	33,842	29,093
工具、器具及び備品	46,856	45,230
減価償却累計額	△42,339	△41,258
工具、器具及び備品(純額)	4,517	3,971
土地	6,468	6,008
リース資産	4,228	4,340
減価償却累計額	△2,044	△1,945
リース資産(純額)	2,183	2,394
建設仮勘定	8,989	10,772
有形固定資産合計	75,567	70,899
無形固定資産		
ソフトウェア	3,335	3,344
ソフトウェア仮勘定	1,923	2,493
その他	1,877	1,576
無形固定資産合計	7,135	7,415
投資その他の資産		
投資有価証券	25,088	24,834
長期貸付金	2,578	3,327
繰延税金資産	1,044	923
長期前払費用	426	594
退職給付に係る資産	8,204	8,526
その他	2,422	2,247
貸倒引当金	△159	△160
投資その他の資産合計	39,605	40,293
固定資産合計	122,308	118,607
資産合計	314,859	296,149

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,728	27,689
短期借入金	55,144	55,541
未払金及び未払費用	24,344	25,637
未払法人税等	1,362	1,005
賞与引当金	4,498	4,384
役員賞与引当金	55	51
製品保証引当金	2,510	2,099
損害補償損失等引当金	2,145	2,145
その他の引当金	140	468
その他	7,562	4,788
流動負債合計	129,493	123,811
固定負債		
長期借入金	82,141	81,747
長期末払金	5,785	5,584
繰延税金負債	3,075	2,836
退職給付に係る負債	1,419	1,478
その他	2,635	2,645
固定負債合計	95,058	94,292
負債合計	224,551	218,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,598	15,595
利益剰余金	47,735	49,108
自己株式	△600	△601
株主資本合計	72,618	73,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,350	1,795
為替換算調整勘定	1,785	△11,035
退職給付に係る調整累計額	△740	△511
その他の包括利益累計額合計	3,395	△9,752
非支配株主持分	14,293	13,810
純資産合計	90,307	78,045
負債純資産合計	314,859	296,149

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	161,332	159,266
売上原価	137,676	133,107
売上総利益	23,656	26,158
販売費及び一般管理費	13,772	15,491
営業利益	9,883	10,667
営業外収益		
受取利息	281	235
受取配当金	243	277
持分法による投資利益	558	340
その他	477	401
営業外収益合計	1,560	1,255
営業外費用		
支払利息	647	668
為替差損	557	3,765
その他	411	444
営業外費用合計	1,616	4,877
経常利益	9,827	7,045
特別利益		
固定資産売却益	2	291
投資有価証券売却益	28	—
その他	2	11
特別利益合計	32	303
特別損失		
固定資産除却損	319	158
減損損失	—	5
取引調査関連損失	241	523
その他	176	111
特別損失合計	738	799
税金等調整前四半期純利益	9,122	6,549
法人税等	2,424	3,134
四半期純利益	6,697	3,415
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,206	1,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,491	2,178

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	6,697	3,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△607	△563
為替換算調整勘定	△435	△13,685
退職給付に係る調整額	△116	239
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	△435
その他の包括利益合計	△1,185	△14,444
四半期包括利益	5,512	△11,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,444	△10,969
非支配株主に係る四半期包括利益	1,067	△59

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,122	6,549
減価償却費	7,508	7,273
受取利息及び受取配当金	△525	△513
支払利息	647	668
持分法による投資損益 (△は益)	△558	△340
有形固定資産売却損益 (△は益)	8	△281
売上債権の増減額 (△は増加)	701	△2,964
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,917	866
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,092	3,903
その他	399	2,714
小計	19,129	17,877
利息及び配当金の受取額	528	512
利息の支払額	△650	△665
法人税等の支払額	△3,352	△3,461
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,654	14,262
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,822	△9,874
有形固定資産の売却による収入	368	1,309
投資有価証券の取得による支出	△370	△52
貸付けによる支出	△946	△1,620
貸付金の回収による収入	311	1,173
その他	△1,391	△1,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,850	△10,175
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,644	1,955
長期借入れによる収入	16,805	1,725
長期借入金の返済による支出	△11,511	△1,207
社債の償還による支出	△36	—
配当金の支払額	△626	△805
非支配株主への配当金の支払額	△415	△472
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,540	△1,385
その他	△851	△838
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,469	△1,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	△747	△3,488
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,524	△431
現金及び現金同等物の期首残高	59,115	67,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,640	66,821

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

## 【偶発債務】

当社グループは、一部の自動車部品の取引に関する米国独占禁止法等への違反により損害を被ったとして、米国の自動車ディーラー及び最終購入者等から損害賠償を求める集団民事訴訟（クラスアクション）の提起を受けております。

なお、本件訴訟が当社グループの今後の業績に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	155,278	5,065	988	161,332	—	161,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	288	711	118	1,119	△1,119	—
計	155,567	5,777	1,107	162,452	△1,119	161,332
セグメント利益	9,650	160	65	9,876	6	9,883

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	152,617	5,052	1,596	159,266	—	159,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	307	833	115	1,256	△1,256	—
計	152,924	5,885	1,712	160,522	△1,256	159,266
セグメント利益	10,342	84	230	10,657	10	10,667

(注) 1. セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。